

自分の新たな可能性と 創造的なアイデアに 出会えた3日間！

Open Heart, Open Art

Tongaliサマースクール2025



目覚めよ自分、解き放て創造 ———

Day1

「知る」

愛知県立芸術大学の春田登紀雄研究室が
開発した自己分析と発想法を学ぶ

Day2

「発想する」

1人100個!?!ひたすらアイデア出し

Day3

「伝える」

約1.5か月後の成果発表会では
プロトタイプを見せてプレゼン

学びのシェア

「バカ」なアイデアを歓迎する

Q.なぜ創造力が必要なのか？

A.これからの不確実な時代を生き抜くため。

社会には、方程式を使って解が出るようなことはほとんどない。
そのため我々は新しいアイデアをどんどん考える必要がある。

Q.創造性を最大限に発揮するためには？

A.常識・経験を捨てる。

創造的なアイデアを発想する上で重要なのは
「ペルソナ」でも「市場ニーズ」でもない。
大切なのは創造性の幅を広げるために、常識・経験を一度捨てることである。

新しい自分との出会い＝「？」
この「？」を戸惑わずにワクワクした気持ちで受け入れることが
発想するために必要である

Q.創造的なアイデアを生み出せるのは、
一部の天才だけだろうか？

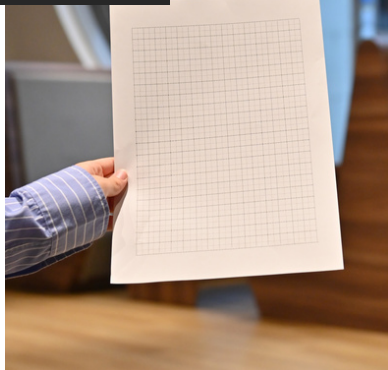
A.否。

創造性は、「モノ・コト・ヒト」をぶつけることで発揮されるため、
創造性はその人の生まれ持った才能ではなく、その人がそれまでに見聞きしたもの、
関わってきた人に深く依存しているのだ。

「できない」「No」はいくらでも言える
チームの可能性を広げる合言葉は「Yes,and」

子どもたちが自然と姿勢を 正したくなる？！

のびのびノート



一見、ただの5mm方眼に見えるこのノート。
しかし、姿勢が悪くなってノートと目の距離が近づくと、罫線がなんと
ちかちかちかちかちか...etc
という文字列になっていることに気づく。
姿勢が悪いと文字列が見えて文字が書きづらく、
自然と姿勢を良くしたくなるのである。
メンバーの多くが勉強によって視力が低下した
経験があることから生まれたアイデアだ。

太陽光で魔法のように 文字が浮かび上がる？！

おひさまノート



室内でこのノートを開いてみると、
ページが真っ黒で、
鉛筆で文字を書いても何も見えない。
けれど、外に出て光を浴びた瞬間——
魔法がかかったように黒かったページが白くなり、
文字が浮かび上がるようになる。
太陽の下で勉強したくなる、
ちょっとふしぎなノート。
室内に籠りがちな子供達を、“外へ誘うノート”だ。

「本能にささる新しい
ノート・机とは？」
—各チームのアイデアを紹介—

天板を自由に外せて 変えることができる？！

ワンプレート机



一つの机を、シーンごとに片付けるのはめんどくさい。
そんな時にこのワンプレート机が役立つ。
実はこの天板、用途別に天板を変えることができるのだ。
例えば、作業をしていて、
「少し休憩してご飯を食べたい」と思ったとき。
作業用天板を片付けることなく、
プレート天板にとりかえればすぐに食事ができる上に、
食べ終わったら、そのまま洗える。
ビュッフェでも、学食でも、
ワンプレートをお盆のように持ち運べてしまうのも魅力の一つだ。

付箋のように剥がせて 何度も生まれ変わる？！

Re:Leaf机



机は、ずっと同じ見た目である必要があるのだろうか？
この机は、その固定観念を静かにくつがえす。

天板がまるで付箋のように剥がせるのだ。
汚れた机も、紙くずの散らかった学習机も
前の人が汚した飲食店の机も
一枚めくるだけで、
すぐに綺麗な机に変わる。



さらに、インテリアとして使えば、
めくるたびに
“机の衣替え”ができてしまう。

スピード衛生管理、スピード模様替え。
なんとも現代人の味方になってくれそうなアイテムである。